

# 公民科（現代社会）学習指導案

実施日時 平成30年11月 2日（金）3限目  
対象生徒 第2学年1組 男子15人 女子25人 計40名  
授業者 鹿児島県立大島高等学校 教諭 橋口 央  
使用教材 『高等学校 改訂版 現代社会』第一学習社  
『最新図説 現社』浜島書店  
「国勢調査」総務省  
「日本の地域別将来推計人口」国立社会保障・人口問題研究所

## 1 単元

第5章 現代の経済社会と私たちの生活 12節 社会保障と国民福祉 16 人口減少社会の到来

## 2 教材観

前時の授業で、少子高齢化が労働力需給や経済成長など国民経済に影響を及ぼすことや、社会保障費の財政負担の増大に繋がるなど、「社会保障と国民福祉」に関する基礎的な講義は終えている。

本時の授業は、地元奄美の人口減少の問題点と解決策に関する「問い」を設定し、近未来に起こり得る問題を具体的に予想させる。次に、その問題に対する望ましい解決の在り方について、他者との対話を通して多面的・多角的に考察を深めさせる。

本時の授業を通じて、持続可能な地域づくりに向けて、近未来の課題を予想する力、解決策として考察したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論する力を育む機会とする。

## 3 生徒の実態

男女合わせて40名の理系クラスで、現代社会の科目への関心も高く、授業にも熱心に取り組む生徒が多い。授業開始時に時事問題の分析と各自の意見を発表させることが多いが、意見の論拠は弱いながらも、幅広い時事問題に興味・関心を持ってよく発表している。学習態度は良好で、発問に対して積極的に答える姿勢が見られる。

## 4 単元の評価規準と指導計画

### （1）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
奄美が抱える現実の課題を追究しつつ、持続可能な地域社会の実現について意欲的に追究している。	地域の課題や望ましい解決の在り方について、多面的・多角的に考察し現実的に判断できる。	資料を主体的に選択・活用し、考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。	政治、経済、社会課題に関する事項や特質、動向をとらえる基本的な概念や理論を理解する。

## (2) 指導計画 (全2時間)

学習内容	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
① 社会保障と国民福祉 (基礎講義)	○	○		○
② 人口減少社会の到来 (本時)	○	○	○	

## 5 本時の実際

### (1) 本時の目標

奄美の人口減少が近未来にもたらす影響を予想させ、多面的・多角的な視点から問題点を考察する。他者と協働して解決策を協議させることで、持続可能な地域社会の実現を主体的に考える機会とする。

### (2) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準
導 入 (5)	○資料を基に、人口減少がもたらす近未来への課題をペアワークで考察する。	○資料から読み取る事実と、そこから読み取れる考察を明確に区別させる。	○資料を読み取り、考察することができる。 【資料活用の技能】
展 開 (40)	○考察した課題の発表を行う。 ○新しい視点等は、メモを取る。	○「根拠」を持って各自の主張を伝えるよう指導する。	○各自の主張の論点を整理して、思考・判断・表現に生かしている。 【思考・判断・表現】
	【学習課題】 奄美の人口減少の問題点は何か？ それはどうすれば解決するのか？		
	○解決策についてグループ対話を行う。 (解決策の必要性や有効性についても協議する)	○途中で意見が変わってもよいことを確認する。 ○新しい視点や見方があった場合は、メモを取るよう指示する。	○テーマに関心をもって、意欲的にグループで対話している。 【関心・意欲・態度】
○解決策をクラス全体に発表し、相互評価する。	○多面的・多角的な視点を基に、有効性のある解決策になっているか指導する。	○総意をまとめて発表することができる。 【思考・判断・表現】	
終 末 (5)	○本時の振り返りを行う。	○評価表を使って、本時の振り返りをさせる。	○多面的・多角的に評価をしている。 【思考・判断・表現】
	【課題解決例】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の統廃合 → 公共施設との併用化を進め、地域包括教育の拠点を形成する。</li> <li>・インフラの未修繕 → コンパクト化と交通ネットワーク形成でインフラを縮小。</li> <li>・シルバー民主主義の増大 → ネット選挙を導入し、全世代の意見反映を進める。</li> <li>・空き家（塩漬け物件）の増加 → 行政支援で、物件や土地の利用効率を高める。</li> </ul>		